

長岡市復興推進地域づくり委員会について

1 背景・経過

長岡市では、中越大震災の経験と教訓、復興の取り組みの成果を踏まえ、今後 10 年間における地域づくりの方向性を検討するため、平成 25 年 12 月に長岡市復興推進地域づくり委員会（委員長・澤田雅浩長岡造形大学准教授）を設置。

委員会では、地域づくりの方向性や住民・住民組織、行政機関等の役割及び連携体制について 8 回にわたり検討を行い、平成 26 年 9 月 30 日に報告書を市長へ提出。

2 委員

学識経験者のほか、中山間地域で復興や地域活性化の活動を実際に行っている方々で構成。

| 役職 | 氏名 | 所属・役職等 |
|----|-------------|--|
| ◎ | 澤田 雅浩 | 長岡造形大学 准教授 |
| ○ | 田中 仁（山古志地域） | NPO法人 中越防災フロンティア 理事長 |
| | 上村 靖司 | 長岡技術科学大学 教授 |
| | 山口 壽道 | (公財)山の暮らし再生機構 理事長 (公社)中越防災安全推進機構 事務局長 |
| | 小島 康市（小国地域） | NPO法人 MTNサポート 副理事長 |
| | 井田 洋也（栃尾地域） | NPO法人 フォーラム栃尾熱都 |
| | 赤塚 雅之（川口地域） | NPO法人 暮らしサポート越後川口 事務局長 |

※ ◎印：委員長 ○印：副委員長

3 検討内容

| 開催日 | 主な内容 |
|-------------------------|---------------------------------------|
| 第 1 回 25 年 12 月 24 日 | ・ 地域 NPO の活動紹介 ・ 地域の現状に関する意見交換 |
| 第 2 回 26 年 1 月 27 日 | ・ 地域の現状と課題の把握 ・ 地域 NPO へのヒアリング結果確認 |

| | |
|------------------------------|--|
| 第 3 回 26 年 2 月 21 日 | ・ 地域づくりの視点について共通認識 ・ 復興で生まれた新たな活動の確認 |
| 第 4 回 26 年 5 月 2 日 | ・ 具体的な地域の取組みに関するアイデア出し ・ 目指すべき中山間地に関する意見交換 |
| 第 5 回 26 年 6 月 2 日 | ・ これからの 10 年における地域ビジョンについて ・ 地域ビジョンに対するキーワード整理と取組みについて |
| 第 6 回 26 年 7 月 14 日 | ・ これからの地域づくりの方向性について ・ 地域づくりの具体的取組について ・ 委員会報告書の項目について |
| 第 7 回 26 年 8 月 11 日 | ・ これからの地域づくりのビジョン達成における仕組みについて ・ 地域 NPO の活動と地域内の連携について ・ (公財)山の暮らし再生機構 (LIMO) の活動と役割について |
| 第 8 回 (最終回) 26 年 8 月 25 日 | ・ (公財)山の暮らし再生機構 (LIMO) の役割について(再考) ・ ビジョン達成のための地域連携の体制について |

4 報告

地域の現状、復興過程で培ってきた経験と教訓の成果を踏まえて、これから先 10 年間、更に持続可能な中山間地域づくりを行うため、①目指すべき地域づくりのビジョンと、ビジョン達成に向けた②地域の連携体制について、長岡市に報告。

① 目指すべき地域づくりのビジョン（別図 1 参照）

目標達成に向け、色々なことを試みていくためのスローガン

《地域ビジョンと展開イメージ》

「ラクラク・イキイキ暮らせて、ワクワクする地域をめざして」

- ◎ 地域内に住んでいる人の暮らしやすさを「ラクラク」「イキイキ」というキーワードに、
- ◎ 人が魅力を感じる地域を「ワクワク」というキーワードに込めた。

② 地域の連携体制（それぞれの役割）（別図 2 参照）

住民や住民組織、山の暮らし再生機構、行政機関の役割分担・連携体制を整理。

図1 地域ビジョン(これからの地域づくりの方向性)

【地域づくりの基本的方向】

**復興で得た「知恵」や「仕組み」を活かして、
過疎高齢化に適応する持続可能な地域づくりをめざす**

(復興の「知恵」や「仕組み」)

| | | | |
|--|--|---------------------------------------|---|
| <p>〈地域の基盤〉 共助コミュニティの強化 共感コミュニティの発生</p> | <p>〈目標〉 「民の公」の拡大による 自立と自律の地域経営</p> | <p>〈推進体制〉 住民による合意と 決定の仕組み</p> | <p>〈サポート体制〉 中間支援等を行う 外部組織の活用・連携</p> |
|--|--|---------------------------------------|---|

【これからの地域づくりのビジョンと展開イメージ】

ラクラク・イキイキ暮らせて、ワクワクする地域をめざして

・過疎化、高齢化しても、ラクラク安心して暮らし続けられる地域の形成
 ・老若男女を問わず、だれもがイキイキ楽しく住み続けられる地域の形成
 ⇒ ・地域の魅力をワクワク感じて、交流や対流が生まれる地域の形成

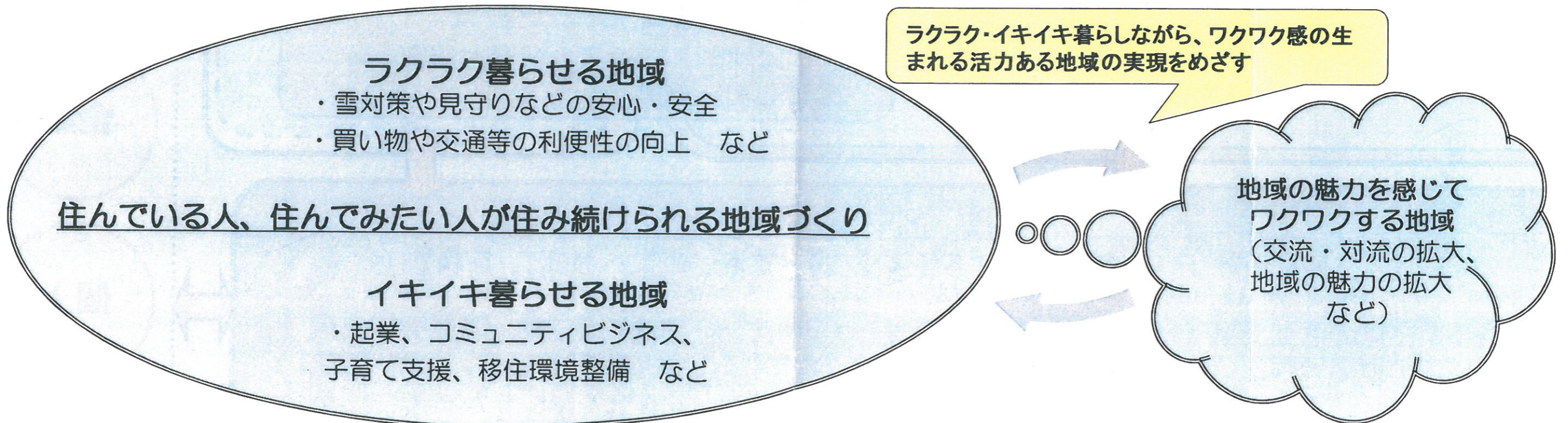


図 2

「ラクラク、イキイキ暮らせて、ワクワクする地域」に向けた連携体制

